



地域（亀山市）と連携の取れた三重県づくり

三重県議会議員

県政レポート

長田たかひさ

2012年7月
VOL.14



事務所

〒519-0124 亀山市東御幸町 233-2
TEL 0595-82-8700 FAX 0595-82-8775
ホームページ <http://www.enjoy-nagata.jp/>

所属委員会

- 教育警察常任委員会 委員（教育委員会、公安委員会（警察本部）の所管及びこれに関連すること）
- 予算決算常任委員会 委員（予算、決算及びこれに関連すること）
- 議員提出条例検証特別委員会 副委員長（議員提出条例の検証に関連すること）

◇皆様のご意見をお聞かせ下さい

第2回定例会（5月15日～6月27日）から

※6月一般会計補正予算のポイント

災害廃棄物適正処理促進事業費 … 74,147 千円

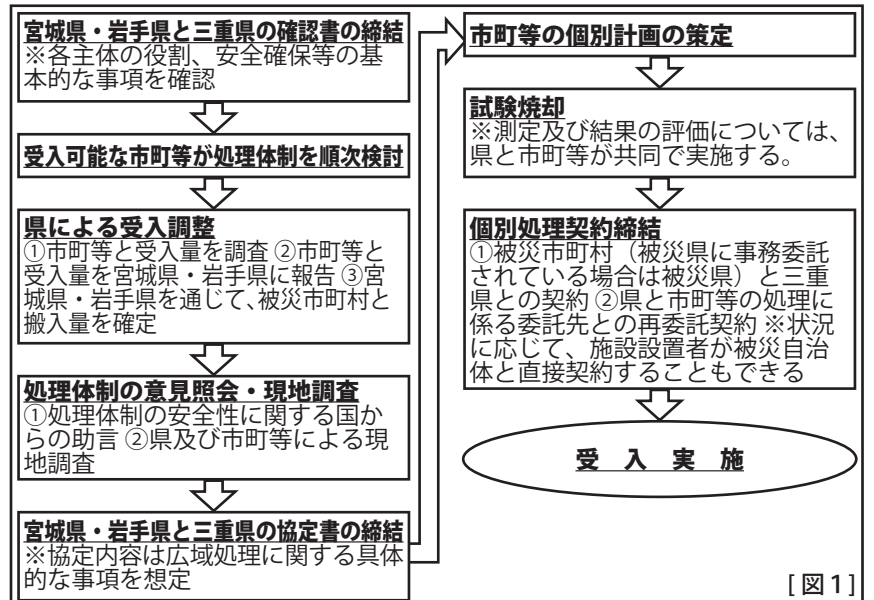
災害廃棄物適正処理促進事業費の内訳
（平成24年度三重県一般会計補正予算（第2号））

- 1 三重県災害廃棄物広域処理検討委員会の運営 1,176 千円**
専門家5名による検討委員会を設置し、ガイドラインの策定及びモニタリング結果の検証を行う。

三重県における東日本大震災の災害廃棄物処理に関するガイドラインの概要

- 1 目的：**東日本大震災により発生した災害廃棄物を県内で処理する場合の安全性の確保
- 2 対象：**宮城県、岩手県内の災害廃棄物のうち木くずとその他の可燃物（紙くず等）が混合した混合廃棄物
- 3 災害廃棄物の放射能濃度**
 - ①放射性物質は、セシウム134及びセシウム137
 - ②作業従事者及び周辺住民の線量限度は、一般公衆の年間線量限度の1ミリシーベルト/年未満
 - ③放射能濃度の目安値
 - ・災害廃棄物の受入処理の目安値 100 ベクレル/kg 以下
 - ・焼却灰の埋め立て処分の目安値 2000 ベクレル/kg 以下
 - ・処理により得られた再生利用製品の目安値 100 ベクレル/kg 以下
- 4 災害廃棄物の受入の基本的な手続き（→図1）**
- 5 災害廃棄物の放射線モニタリング（→図2）**
モニタリング地点は、図2の①～⑭と★(1)～★(3)エリアです。
- 6 情報の公開**
測定結果を速やかにホームページで公開します。

- 2 受入市町決定までの連絡調整、住民説明、結果の公表 21,744 千円**
市町による処理を促すため、受入想定市町等の住民を対象とした説明会の開催や、被災地の現地状況調査等を実施し、被災県との基本協定の締結、受入想定市町と個別計画の策定を行う。
★6月27日現在の住民説明会の開催予定市町等は、伊賀南部環境衛生組合（名張市、伊賀市）と多気町です。
- 3 試験焼却処理委託 13,592 千円**
受入を決定した市町までの県内における災害廃棄物の運搬及び試験焼却の委託等を行う。
- 4 モニタリングの実施、公表 37,635 千円**
搬入予定の災害廃棄物や、運搬中、試験焼却における放射線量の測定等及び結果の公表を行う。



[図1]

場所	被災自治体	他自治体	三重県	三重県または他自治体
処理の流れ	一次選別 → 運搬 → 二次選別 → 運搬 → 破碎前保管 → 破碎 → 破碎後保管① → 運搬 → 積込施設 → 積込ヤード② → (重機) → コンテナに積込③ → 輸送ヤード → 輸送 → 貨車に積込 → 運搬 → 駅・港(積込) → 駅 → 輸送ヤード → 輸送 → 船舶に積込④ → 港 → 輸送ヤード → 輸送 → 船舶から積降⑤ → 積替・保管⑤ → 運搬 → 焼却施設等 → 受入ヤード⑥⑦ → 焼却等⑧⑨⑩ → 焼却灰保管⑩ → 最終処分場⑫⑬ → ★(2) → 再生処理施設⑭⑮⑯⑰ → ★(3)	運搬(車で直送)	運搬	運搬
責任区分	被災自治体		県・市町等または民間施設設置者	
測定実施主体	被災自治体 県(被災自治体のクロスチェック)		県 県・市町等または民間施設設置者 県(民間施設設置者のクロスチェック)	
放射線の管理項目	放射能濃度(*1) ① 遮蔽線量率(*2) ② 空間線量率(*3) ②③④	(密閉等の随時確認)	⑥、⑧排ガス ⑨排水等 ⑩焼却灰等 ⑦受入ヤード ⑪場内施設周辺及び敷地境界 ★(1)処理施設周辺地区	⑫排水等 ⑭排ガス ⑮排水等 ⑯再生利用製品 ⑬敷地境界等 ★(2)処理施設周辺地区 ⑰場内施設周辺及び敷地境界 ★(3)処理施設周辺地区

(*1) 放射能濃度(単位:ベクレル/kg)…災害廃棄物に含まれる放射性物質(セシウム)が、1秒間に放出する放射線の数(1秒間に1個の放射線を出す1ベクレル)。
(*2) 遮蔽線量率(単位:シーベルト/時間)…自然の放射線の影響を除いて廃棄物そのものが持っている放射線の量で、遮蔽体の中に災害廃棄物を置いて測定した、空間線量率。
(*3) 空間線量率(単位:シーベルト/時間)…一般環境中で人が受ける放射線の量で、単位:シーベルトとは、人体への影響の度合いが考慮されたもの。

[図2]

放射線と放射能の違い

懐中電灯
光を出す能力

明るさの度合いを表す単位
ルクス (lx)

放射性物質
放射線を出す能力 (放射能)

人が受けた放射線影響の度合いを表す単位
シーベルト (Sv)

放射能の強さを表す単位
ベクレル (Bq)

日常生活と放射線

自然放射線

放射線の量 (ミリシーベルト)

10 → 10 ← 6.9 胸部X線コンピュータ断層撮影検査 (CTスキャン) (1回)

1人あたりの自然放射線 (年間・世界平均) 2.4 →

(年間・日本平均) 1.5 →

《日本の内訳》
宇宙から (0.29)、食物から (0.22)
大地から (0.38)、空気の吸入から (0.59)

東京 - ニューヨーク
航空機旅行 (往復) 0.2 →
(高度による宇宙線の増加)

0.1 ← 0.6 胃のX線集団検診 (1回)

← 0.05 胸のX線集団検診 (1回)

人工放射線

※大気からの放射線は、三重県においては、三重県保健環境研究所 (四日市市桜町) で測定されています。ちなみに、6月26日午前9時の1m地点の数値は、0.065マイクロシーベルト/時間で、年間に換算すると0.065×24×365≒569マイクロシーベルト/年≒0.57ミリシーベルト/年になります。

100Bq/kg の物 1t からの放射線による影響

至近距離でも放射線による影響は無視できるレベル。また、距離をあけることで影響はほぼゼロになります。

1トンの物が裸で置かれ、あいだに土、構造物、衣服などの遮蔽する物がない状態で、近くに年間 1000 時間立ち続けるという想定で計算した結果です。実際には、近づく時間が限られていたり、容器、土、構造物、衣類、その物自体など物質の中を通る間に放射線は弱くなりますので、実効線量は計算結果よりもはるかに少なくなります。

(*) IAEA-TECDOC-1162「放射線緊急事態時の評価及び対応のための一般手順 手順書E1」の方法により、点源として試算。

平成 24 年度 鈴鹿建設事務所管内亀山地区新規事業箇所

① 亀山停車場石水溪線 (池の側橋) 橋梁耐震対策事業 (西丸町) 橋梁の耐震補強に向けて、設計に入ります。

② 鈴鹿関線交通安全事業 (天神) 右折ライン、歩道設置に向けて、測量、道路設計に入ります。

③ 棕川通常砂防事業 (白木町) 山腹保護のための地質調査、測量設計に入ります。

④ 関大山田線災害防除事業 (加太中在家) 法面保護のため、測量設計に入ります。

⑤ 河原谷川通常砂防事業 (関町坂下) 土砂災害防止のため、地質調査、測量設計に入ります。

⑥ 国道 25 号災害防除事業 (関町金場～加太北在家) 法面保護のため、測量設計に入ります。(箇所につきましては特定できませんので、図示していません)

※予定箇所付近の写真のため、ピンポイントの写真ではありません。

◆ 県政報告会を行っています

159回	03月31日	三寺町公民館	168回	05月26日	太田宮農研修センター	177回	06月16日	森公民館
160回	04月07日	井尻公民館	169回	05月27日	東野集会所	178回	06月16日	能褒野町公民館
161回	04月12日	弘法寺	170回	05月27日	みずけ丘道伯幼稚園	179回	06月17日	坂本生活改善センター
162回	04月14日	下庄集会所	171回	06月02日	栄町公民館	180回	06月17日	名越公民館
163回	04月15日	南鹿島公民館	172回	06月03日	岩森公民館	181回	06月19日	みずぼ台集会所
164回	04月21日	小下町公民館	173回	06月03日	福德公民館	182回	06月23日	井田川地区北コミュニティセンター
165回	04月22日	川合町公民館	174回	06月09日	田村町公民館	183回	06月26日	柴崎公民館
166回	04月29日	井田川町公民館	175回	06月10日	長明寺町集会所			
167回	05月13日	和田団地集会所	176回	06月10日	ひとみヶ丘集会所			